

福祉法人経営

第46号

2025年11月
発行

社会福祉法人 東京都社会福祉協議会
社会福祉法人経営者協議会



主な内容

部会紹介：乳児部会の取り組みと今後について……………	3
令和6年度障害福祉サービス等報酬改定の概要……………	5
令和6年度介護報酬改定について……………	9
施設の改築・大規模修繕の課題とメンテナンスの重要性……………	10
福祉人材の確保・育成・定着等に関するヒアリング調査 報告書（概要版）……………	15

巻頭言

環境が変化するなかでの社会福祉法人経営者協議会の取り組みについて

社会福祉法人 稲城青葉会 理事長

東社協 社会福祉法人経営者協議会 副会長 城所 真人



私が、経営協（旧法人協）に加入したのは、当法人が設立した時の34年前です。その後に東京都青年経営者会が発足され、同世代の仲間と福祉の情報把握・研修など多くの学びをさせて頂きました。経営協とともに学びあい切磋琢磨する仲間ができたことは、私にとって大きな財産となっております。その後、東社協の保育部会長として3期6年務めた後、経営協に再度戻りました。令和5年度に副会長に推薦され、総会で承認を受け、今年度を迎えております。副会長として拝命され、微力ではありますが、経営協の発展と会員の皆様のお力添えになれるよう誠心誠意努めさせていただきたいと思い取り組んでおります。これまで築かれてきた伝統と信頼を大切にしつつ、変化する社会の中で柔軟に対応し、より一層の発展に寄与できるよう尽力していきたいと思います。

さて令和7年度、社会福祉法人の取り巻く環境が変化している中で、経営協の活動もスタートいたしました。事業計画の活動の方針にも明記していますが、少子高齢化の進展に伴う労働人口の縮小、家庭機能の脆弱化とコミュニティの希薄化による社会的孤立や生活困窮など生活課題・福祉課題は複雑化・多様化しています。国においては、高齢者数がピークを迎える2040年に向けて、持続可能な社会保障制度の構築に向けた取組が進められていますが、高齢化のスピードに保障制度が追いつかない状況です。さらに、世界的な国際関係の激変によるエネルギー価格の高騰及び穀物価格の高騰が国民生活と社会福祉法人の各事業・各施設の運営をひっ迫させています。社会福祉法人においては、社会的使命をはたしつつも、効率的な運営、財務管理が求められていると言えます。また、新型コロナウイルス感染症が第5類感染症に移行したものの、各施設においては依然として、感染対策の徹底と利用者サービスの継続のために、多大な努力をせざるを得ない状況となっています。新型コロナウイルス感染症の経験から、感染防止策やBCP（事業継続計画）の重要性が認識され、平時からの備えや対応力強化が必要であるといえます。